



2024年04月 現在

Fujitsu Software

Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition V15a (V15.2.3)

Systemwalker Service Quality Coordinatorは、サービス品質から仮想リソースまでを可視化することによるリスク分析や、リソース使用データから将来的なICT計画を支援するソフトウェア製品です。

サービス品質を可視化すると共に、システムを構成する個々のサーバや仮想化環境から収集した性能情報を様々な角度から監視/分析する機能を提供します。

- **Manager**

SPARC Enterprise Tシリーズ / SPARC Enterprise Mシリーズ / SPARC Servers / マルチベンダーサーバ・クライアント / FUJITSU Cloud Service for SPARC

- **Agent for Business/Agent for Server**

SPARC Enterprise Tシリーズ / SPARC Enterprise Mシリーズ / SPARC Servers / マルチベンダーサーバ・クライアント / FUJITSU Cloud Service for SPARC

- **Agent for Virtual Environment**

SPARC Enterprise Tシリーズ / SPARC Enterprise Mシリーズ / SPARC Servers / マルチベンダーサーバ・クライアント

- **運用管理クライアント**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **Browser Agent**

FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント

- **Manager**

Solaris 11(64bit)

- **Agent for Business/Agent for Server**

Solaris 11(64bit)

- **Agent for Virtual Environment**

Solaris 11(64bit)

- **運用管理クライアント**

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1 /
Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) /
Windows Server 2012 R2(64-bit) / Windows Server 2012(64-bit)

- **Browser Agent**

Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1

1. サービス品質の可視化によるリスク管理

Systemwalker Service Quality Coordinator は、ICTシステムの提供する各種サービスから仮想リソースまでを可視化・分析し、ICTシステム全体の最適化を支援します。

(1) サービス品質の可視化によるリスク管理

ICTシステムがエンドユーザーに提供している、業務の処理量、可用性さらにレスポンスタイム等の業務サービス品質を計測しリアルタイムに可視化します。また、業務サービスを構成するサーバのリソースの状況（CPU使用率、メモリ使用量、ディスクI/O回数、スペース容量など）、仮想ホストのリソース状況（VMware、Hyper-V、Linux仮想マシン機能（KVM）、Oracle Solaris ゾーン、Oracle VM Server for SPARCなど）、ミドルウェア（Interstage、Oracle、Symfoware、SAPなど）の稼働状況についても同様に計測、可視化が可能です。さらに、業務サービス品質や各種のリソース状況については、しきい値を設定し、しきい値超えが発生した場合にはアラーム通知することが可能です。

また、サーバおよび仮想ホストのリソース状況については、エージェントをインストールせずに、リモートでサーバ性能情報を収集・蓄積・分析する機能を提供します。これにより、ICTシステムの状況を確実に把握することが可能となります。

(2) 業務サービス品質維持を支援

業務サービス品質の劣化が発生した場合、業務サービス自体の品質はもちろん、サービスを構成するサーバや仮想ホストのリソースの状況や、ミドルウェアの稼働状況を常時計測し、可視化することが可能なため、システム管理者は即座に問題の発生を確認することができます。また、問題の発生箇所の状況をより詳細に確認することができるドリルダウン機能や、問題発生箇所を軸として、多角的な分析を行うことができるレポート機能など、高度な診断レポートにより、ボトルネックを分析し、業務サービス品質の維持を可能とします。OSおよびVMwareの場合は、当社のノウハウに基づくチューニングガイダンスが品質維持を支援します。

2. 運用の分析と予測に基づく将来的なICT計画を支援

サービス品質とリソースの相関関係の分析や、リソースの将来的な傾向を予測する回帰分析、過去と現在のデータ推移の傾向分析により、将来のICTシステムの性能を予測することができます。これらの分析により、リソース配分の最適化などが可能となり、将来的なコスト削減に結びつきます。

また、仮想化/クラウド環境の利用者、提供者双方のためのシミュレーション機能は、サイジング時間の短縮を実現します。キャパシティプランニングやICT投資判断を的確に行うことができ、最大限のROI効果が図れます。

- スケールアウトシミュレーションは、サーバの増設によるレスポンスタイムの変化を予想し、Web/AP./DBの適切な階層の強化のための判断材料を提供します。

- 物理サーバおよび仮想ホスト（VMwareおよびLinux仮想マシン機能（KVM）の場合）は、仮想集約シミュレーションにより、集約後のリソース使用状況を予測することができ、サーバ数の適正化を支援します。実際のサーバの利用状況と集約後のサーバのスペックを元にシミュレーションするため、これまでのように試行錯誤を繰り返す必要はありません。集約候補となるサーバは、サーバ台数分布（リソース使用状況別）レポートとサーバリソース使用状況一覧レポートで把握することができます。

3. 管理項目

管理できる項目は以下のとおりです。詳細は、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（Systemwalker Service Quality Coordinator）」内の「管理対象」を参照してください。

(1) サーバ性能

インストール型またはインストールレス型のAgentで各プラットフォーム（Windows、Solaris、Linux、HP-UX、AIX）のOS / カーネルの性能を管理します（HP-UXまたはAIXの場合は、インストールレスの形態での運用となります）。

(2) 仮想ホスト

インストールレス型のAgentで仮想ホストのリソースの情報を管理します。

- VMware
- Hyper-V
- Linux仮想マシン機能（KVM）

- ・ cgroup
- ・ Oracle VM Server for x86
- ・ Oracle Solaris ゾーン
- ・ Oracle VM Server for SPARC

(3) エンドユーザーレスポンス

エンドユーザーがWebサーバにアクセスした時に、体感した応答時間を管理します。

(4) Webトランザクション量

Webシステムへのリクエスト数や、リクエストに対する応答時間を管理します。

(5) 管理対象製品

以下の製品の性能情報を管理します。

- ・ Enterprise Application Platform
- ・ Interstage Application Server
- ・ Interstage Business Application Server
- ・ Primesoft Server
- ・ Oracle WebLogic Server
- ・ Microsoft .NET Server
- ・ SAP NetWeaver
- ・ Symfoware Server
- ・ Symfoware Analytics Server
- ・ Oracle Database Server
- ・ Microsoft SQL Server
- ・ Enterprise Postgres
- ・ PostgreSQL
- ・ Interstage Service Integrator
- ・ Systemwalker Operation Manager
- ・ Systemwalker Centric Manager
- ・ Systemwalker Network Manager
- ・ ETERNUS SF Storage Cruiser

(6) ユーザーデータ

業務データやシステム稼働データなど、ユーザーの固有データ（CSV形式）を管理します。

4. Webサイトの管理機能

Webサーバに対しては、上記の機能に加え、以下に示すWebサイト管理機能を提供します(Windows版 / Linux版(Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)上で動作する場合))。

(1) Webアクセスログ分析機能

顧客との接点であるWebサイトの利用状況を様々な観点から分析することにより、顧客ニーズに見合った商品やサービスを提供することを支援します。

- ・ サイトアクセス量分析

Webサイトにどれくらいのアクセスがあるか、人気のあるページはどこか、誰がどのくらいアクセスしている、どこのリンクをたどってきたかなど、Webサイトへのアクセス量を観点とした利用状況を分析することができます。

- ・ サイトナビゲーション分析

顧客がどのページを見ているのか、そのページにどのくらい滞在したか、どのようにページ遷移したかなど、顧客の行動を観点とした利用状況を分析することができます。

(2) セキュリティ監視

Webコンテンツの改ざんを定期的に検査する機能を提供します。

5. 他商品との連携

(1) Systemwalker Centric Manager

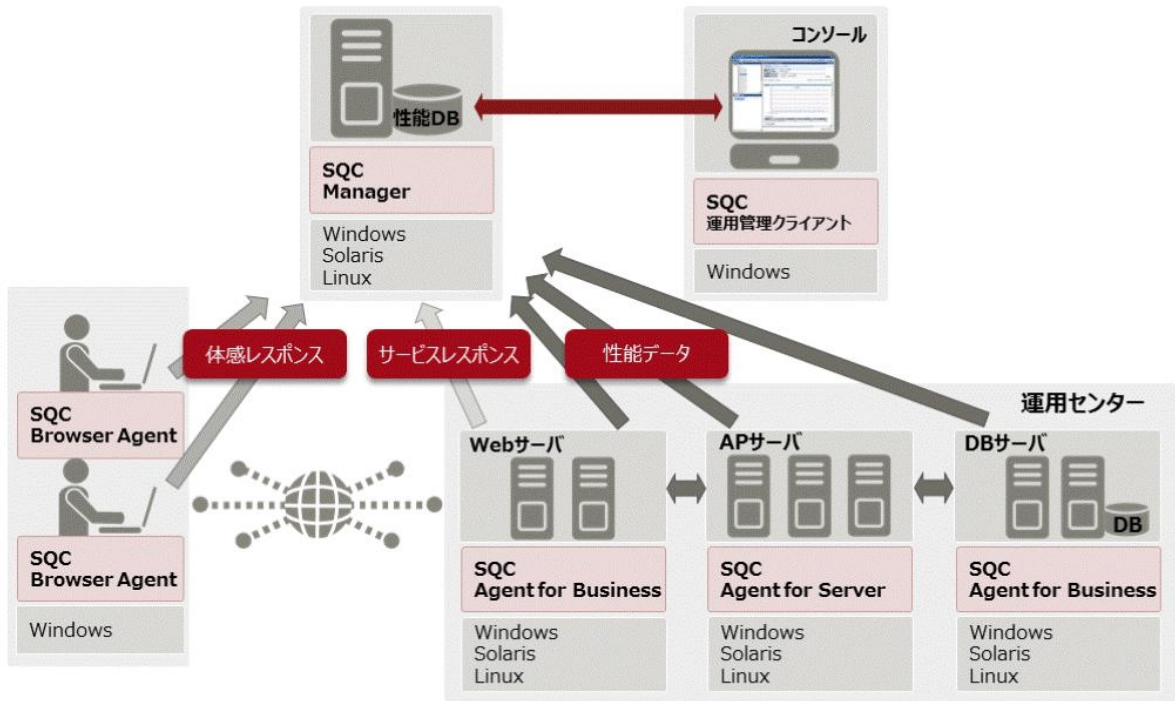
Systemwalker Centric Managerと連携することにより、ICTシステム全体を一元管理することができます。本製品で検知した障害は、Systemwalker Centric Managerにて確認できます。また、Systemwalker Centric Managerより本商品の画面を呼び出し、詳細状況を確認することも可能です。

(2) Systemwalker Service Quality Coordinatorとの連携により性能情報の管理が可能な商品

上記「3. 管理項目」を参照してください。

6. インストールレスの性能情報収集

Agentをインストールせずに、リモートでサーバおよび仮想ホストのリソース状況を収集・蓄積・分析する機能を提供します。被管理対象サーバが、HP-UXまたはAIXの場合は、対応するAgentはありません。インストールレスの形態での運用となります。



注) SQC : Systemwalker Service Quality Coordinator

名称	説明
Manager	<ul style="list-style-type: none"> AgentおよびProxy Managerが収集した情報は、Managerで一括管理します。また、Browser Agentが収集した情報を受信するサーバとしての役割も果たします。 インストールレス型エージェント機能では、管理対象サーバにAgentを導入することなく、Managerからリモートで性能情報を収集することができます。
Proxy Manager	<ul style="list-style-type: none"> ManagerとAgentの間で中継機能を提供します。ManagerとAgentが、ファイアウォールで区切られる形態で、Proxy ManagerをAgent側サイトに配置して中継することにより、サイトのセキュリティを高めることができます。また、Managerが行う、Browser Agentが採取した情報の収集サーバの役割を代替することができます。
運用管理クライアント	<ul style="list-style-type: none"> Managerに接続して、管理・操作するためのコンソール機能を提供します。運用管理者は、運用管理クライアントをインストールしたマシンその他、別マシン上からも、Webブラウザを運用管理クライアントに接続することにより、管理操作を行うことができます。動作プラットフォームは、Windowsのみです。ManagerのプラットフォームがWindowsの場合は、Managerと運用管理クライアントを同一サーバに導入することができます。
Agent	<ul style="list-style-type: none"> サーバのリソース情報(CPU、メモリ、ディスクなど)を収集するほか、Interstageなどのミドルウェアの情報やSymfowareやOracleのデータベースの情報などを収集します。また、Web利用状況管理が可能です。
Browser Agent	<ul style="list-style-type: none"> エンドユーザーがWebサーバにアクセスした情報から、エンドユーザーが体感するレスポンスを測定します。動作プラットフォームは、Windowsのみです。

[管理対象と必要なライセンス] (1/3)

(記号の説明)

- M : Manager
- AB : Agent for Business
- AS : Agent for Server
- AV : Agent for Virtual Environment
- BA : Browser Agent

◎ : 該当のミドルウェアを管理するために必要な最下位のライセンス
 ○ : 上位のライセンスで管理可能
 各管理項目について◎と○の機能差はありません。
 - : 対象外

- *1) インストール型Agent
- *2) インストールレス型Agent

管理対象		M	AB	AS		AV	BA
				(*1)	(*2)	(*2)	
サービスレベル管理							
仮想ホスト							
	VMware	-	-	-	○	◎	-
	Hyper-V	-	○	○	○	◎	-
	Linux仮想マシン機能 (KVM)	-	○	○	○	◎	-
	cgroup	-	○	◎	-	-	-
	Oracle VM Server for x86	-	-	-	◎	-	-
	Oracle Solaris ゾーン	-	○	○	○	◎	-
	Oracle VM Server for SPARC	-	○	○	○	◎	-

[管理対象と必要なライセンス] (2/3)

管理対象		M	AB	AS		AV	BA
				(*1)	(*2)	(*2)	
OS							
	CPU、メモリ、ディスク、ネットワークなどのサマリ情報	○	○	◎	◎	-	-
	上記のサマリ情報に加え、プロセス、IPC資源などの診断向け情報	○	○	◎	-	-	-
ストレージ							
	ETERNUS SF Storage Cruiser	○	○	◎	-	-	-
ネットワーク							
	Systemwalker Centric Manager	○	○	◎	-	-	-
	Systemwalker Network Manager	○	○	◎	-	-	-
ジョブ							
	Systemwalker Operation Manager	○	○	◎	-	-	-
アプリケーションサーバ							
	Enterprise Application Platform	○	○	◎	-	-	-
	Interstage Application Server	○	○	◎	-	-	-
	Microsoft .NET Server	○	○	◎	-	-	-
	Primesoft Server	○	○	◎	-	-	-
	Interstage Business Application Server	○	◎	-	-	-	-
	Oracle WebLogic Server	○	◎	-	-	-	-
	SAP NetWeaver	○	◎	-	-	-	-
Webサーバ							
	Webトランザクション量管理	○	◎	-	-	-	-

管理対象	M	AB	AS		AV	BA
			(*1)	(*2)	(*2)	
データベースサーバ						
Symfoware Server	○	◎	-	-	-	-
Symfoware Analytics Server	○	◎	-	-	-	-
Oracle Database Server	○	◎	-	-	-	-
Microsoft SQL Server	○	◎	-	-	-	-
Enterprise Postgres	○	◎	-	-	-	-
PostgreSQL	○	◎	-	-	-	-
サービスバス						
Interstage Service Integrator	○	◎	-	-	-	-
ユーザーデータ管理	○	○	◎	-	-	-
エンドユーザレスポンス管理	-	-	-	-	-	◎
Web利用状況管理						
利用状況分析(注)	○	◎	-	-	-	-
改ざん監視(注)	○	◎	-	-	-	-

注) 以下では機能を提供していません。

- ・Linux版(Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)上で動作する場合)
- ・Solaris版

V15.1.1からV15.2.3の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. 新規環境への対応

運用管理クライアントの動作環境

OS : Windows Server 2022(64-bit)/Windows Server 2019(64-bit)/Windows 11(64-bit)に対応します。

Webブラウザ : Microsoft EdgeのInternet Explorer (IE)モードに対応します。

Browser Agentの動作環境

Webブラウザ : Microsoft EdgeのInternet Explorer (IE)モードに対応します。

・ オンラインマニュアル

- Systemwalker Service Quality Coordinator 解説書
- Systemwalker Service Quality Coordinator 導入手引書
- Systemwalker Service Quality Coordinator 使用手引書
- Systemwalker Service Quality Coordinator 使用手引書(コンソール編)
- Systemwalker Service Quality Coordinator リファレンスマニュアル
- Systemwalker Service Quality Coordinator トラブルシューティングガイド
- Systemwalker Service Quality Coordinator Web利用状況管理編
- Systemwalker Service Quality Coordinator 用語集

【メディアパック】

Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition メディアパック V15a (V15.2.3)

【ライセンス】

Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition プロセッサライセンス(Manager用) (1年間24時間サポート付) V15a

Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition プロセッサライセンス(Agent for Business用) (1年間24時間サポート付) V15a

Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition プロセッサライセンス(Agent for Server用) (1年間24時間サポート付) V15a

Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition プロセッサライセンス(Agent for Virtual Environment用) (1年間24時間サポート付) V15a

Systemwalker Service Quality Coordinator Browser Agent 1ライセンス (1年間24時間サポート付) V15a

Systemwalker Service Quality Coordinator Browser Agent 20ライセンス (1年間24時間サポート付) V15a

本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(DVD)のみの提供です。使用权は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。

バージョンアップ/レベルアップおよび、32ビット商品と64ビット商品間での切り替えを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバまたはインストールレス型Agentにて管理するサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおりに必要なライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

3. ライセンスについて

(1) 運用管理クライアント

運用管理クライアントは、インストールフリーです。

(2) Browser Agent

エンドユーザーレスポンスを測定するブラウザマシンの台数分、Browser Agentライセンスを購入してください。

(3) インストールレスについて

Agentをインストールしないで、インストールレスの形態で管理する場合は、以下のライセンスを購入してください。

(ア) 仮想ホストを監視する場合

Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition プロセッサライセンス (Agent for Virtual Environment用)

(イ) (ア)以外の場合

Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition プロセッサライセンス (Agent for Server用)

4. ダウングレード使用（旧バージョン または 旧レベル商品の使用）について

本商品のライセンスでは、ダウングレード使用（本商品の旧バージョン または 旧レベルを使用）する権利はありません。

対象のバージョン または レベルを使用する場合は、対象のバージョン または レベルに対応したライセンスをご購入ください。

5. 購入例

以下のシステム構成の場合、購入対象商品と購入数は下記のようになります。

(A) 購入例1

〔システム構成〕

Manager(2コア、2CPU構成) : 1台

仮想ホスト(4コア、2CPU構成) : 1台

〔対象商品と購入数〕

- Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition メディアパック V15a (V15.2.3) 必要数分
- Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition プロセッサライセンス(Manager用) V15a 2コア×2CPU×コア係数分
- Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition プロセッサライセンス(Agent for Virtual Environment用) V15a 4コア×2CPU×コア係数分

(B) 購入例2

〔システム構成〕

Manager(2コア、2CPU構成) : 1台

Agent(2コア、2CPU構成) : 2台

Browser Agent : 3台

〔対象商品と購入数〕

- Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition メディアパック V15a (V15.2.3) 必要数分
- Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition プロセッサライセンス(Manager用) V15a 2コア×2CPU×コア係数分
- Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition プロセッサライセンス(Agent for Server/Agent for Business用) V15a 2コア×2CPU×コア係数分×2本
- Systemwalker Service Quality Coordinator Browser Agent 1ライセンス V15a 3本

Agent商品は、必要となる機能を確認した上で、各Agentに適したライセンス(Agent for Server用/Agent for Business用/Agent for Virtual Environment用)のいずれかを選択してください。

6. V12以降からのバージョンアップ/レベルアップについて

V12以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョンを提供いたします。また、32ビット商品と64ビット商品間での切り替えも可能です。(お客様からのご要求が必要です。)

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン商品を改めてご購入頂く必要があります(価格の優遇はございません)のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問合せください。

7. V11以前からのバージョンアップについて

V11以前の本商品をお持ちの場合は、弊社営業/SEにお問い合わせください。

1. Managerの関連ソフトウェア

Web サイト管理機能を使用する場合、以下の商品が必要です。

- ・ Apache 2.0と互換のWebサーバ

2. Agentの関連ソフトウェア

(1) アラーム通知機能でSystemwalker Centric Managerと連携する場合、以下のいずれかの商品が必要です。

- ・ Systemwalker Centric Manager Standard Edition/Enterprise Edition(エージェント) V13/V15

(2) Webサイト管理機能を使用する場合、以下の商品が必要です。

- ・ Apache 2.0と互換のWebサーバ

3. 運用管理クライアントの関連ソフトウェア

(1) 運用管理クライアントを使用する場合、以下のいずれかの商品が必要です。

- ・ Microsoft Internet Information Services 8.0以降
- ・ Interstage HTTP Server(Interstage Application Server同梱) 7.0以降

(2) 運用管理クライアントが提供する管理画面を表示するためには、以下のいずれかのブラウザが必要です。

- ・ Windows Internet Explorer 11(注1)
- ・ Microsoft EdgeのInternet Explorer (IE)モード

(注1)デスクトップ版Internet Explorerの利用が可能です。

4. Browser Agentの関連ソフトウェア

Browser Agentを使用する場合、以下のいずれかのブラウザが必要です。

- ・ Windows Internet Explorer 11(注1)
- ・ Microsoft EdgeのInternet Explorer (IE)モード

(注1)デスクトップ版Internet Explorerの利用が可能です。

なし

1. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品の運用管理クライアントは、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2012(64-bit)
- Windows Server 2012 R2(64-bit)
- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)
- Windows Server 2022(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

2. Windows デスクトップOS (64-bit)上での動作

本商品の運用管理クライアントおよびBrowser Agentは、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 8.1(64-bit)
- Windows 10(64-bit)
- Windows 11(64-bit) (運用管理クライアント)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

3. パブリッククラウドについて

対象となるパブリッククラウドについては、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）」内の「OSへの対応状況」でご確認ください。

4. Agent商品の同一サーバへの導入

同一サーバへ複数のAgent商品（Agent for Business/Agent for Server/Agent for Virtual Environment）を導入することはできません。

注：各Agent商品の機能は、本ソフトウェアガイドの「システム/機能構成図」の表を参照してください。

5. バージョンの混在環境における使用可能な機能範囲

複数バージョンが混在した場合、基本的に旧版の機能範囲で動作します。

6. IPv6環境での動作について

Agent/Proxy ManagerとManager間、およびインストールレス型AgentとManager/Proxy Manager間の通信が、以下の場合について管理対象のIPv6環境をサポートします。

- ・ Agent/Proxy Manager - Manager間（Push通信）
- ・ インストールレス型Agent - Manager間（TELNET/SSH/HTTPS/WMI通信）

IPv6環境のAgent/Proxy Manager/インストールレス型Agentを管理する場合、ManagerはIPv4/IPv6デュアルスタック環境にしてください。また、Manager - 運用管理クライアント間はIPv4で通信できるようにしてください。

IPv6のみの環境の場合、Windows版 Managerと運用管理クライアントを同居させる構成にすることにより動作可能です。

この場合、運用管理クライアントとManagerとの通信はループバックによるIPv4通信になります。運用管理クライアントで設定する接続先Managerに「127.0.0.1」を指定してください。

以下の機能はIPv6に対応していません。

- Webトランザクション量管理
- エンドユーザーレスポンス管理

7. JIS2004対応の注意事項

本商品はJIS2004のJIS第3/4水準文字が使用された場合、JIS第3/4水準文字が「?」に置き換えられ処理されます。

8. 排他製品について

本商品の排他製品に関する情報は、マニュアルの「Systemwalker Service Quality Coordinator 導入手引書」をご覧ください。

マニュアルについては、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（マニュアル）」を参照してください。

9. パッケージの構成について

Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition メディアパックには、以下のプログラムとマニュアルが同梱されています。

- Manager用プログラム
- Proxy Manager用プログラム
- Agent for Server用プログラム
- Agent for Business用プログラム
- Agent for Virtual Environment用プログラム
- Browser Agent 用プログラム
- 運用管理クライアント用プログラム
- オンラインマニュアル

10. インストールについて

本商品はDVDで提供されます。

インストールにはDVDドライブユニットが必要です。

DVDドライブユニットが搭載されていないマシンの場合は別途手配が必要です。

DVDドライブユニットを入手できない場合は、DVD装置が接続されているPRIMERGYまたはFMVのDVDドライブをNFSにてマウントし、ネットワーク経由でインストールを行います。(ただし、ローカルのDVDドライブユニットと比べて作業工数を要します。)

11. Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016を管理対象としたインストールレス型Agent管理機能について

管理対象のサーバのOSがWindows Server 2022(64-bit)/Windows Server 2019(64-bit)/Windows Server 2016(64-bit)である場合、インストールレス型Agent管理(サーバ性能管理)機能において、通信方式としてTELNETを利用することができません。

監視サーバのOSがWindowsの場合は、通信方式としてWMIを利用してください。

監視サーバのOSがSolarisまたはLinuxの場合は、管理対象のサーバのWindows Server 2022(64-bit)/Windows Server 2019(64-bit)/Windows Server 2016(64-bit)上にAgentをインストールして管理してください。

12. 前版との違いについて

以下のOSについては、サポート対象外となります。

[Manager / Agent]

- Solaris 10(64bit) / Solaris 9(64bit) / Solaris 9(32bit)

[運用管理クライアント]

- Windows Server 2008 R2(64-bit) / Windows Server 2008(64-bit) / Windows Server 2008 / Windows Server 2003 x64 Editions / Windows Server 2003

- Windows 8(64-bit) / Windows 8 / Windows 7(64-bit) / Windows 7 / Windows Vista

[Browser Agent]

- Windows 8(64-bit) / Windows 8 / Windows 7(64-bit) / Windows 7 / Windows Vista

以下のブラウザについては、サポート対象外となります。

[運用管理クライアント / Browser Agent]

- Windows Internet Explorer 10 / Windows Internet Explorer 9 / Windows Internet Explorer 8

以下の機能については、提供を終了しました。

- サービス稼働管理機能
- エコ情報管理機能
- Web利用状況管理
- Systemwalker共通ユーザー管理
- Systemwalkerシングル・サインオン

お客様向けURL

- **ソフトウェア：富士通（Systemwalker Service Quality Coordinator）**
製品概要や動作環境、導入事例、価格等、製品紹介資料を幅広く提供しております。
<https://www.fujitsu.com/jp/software/systemwalker/sqc/>
- **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**
価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>
- **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**
「ライセンスについて、くわしく知る」の項で、富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポートポリシーなどの情報を提供しております。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>
- **ソフトウェア：富士通（マニュアル）**
富士通のソフトウェア製品に添付されているマニュアルが閲覧できます。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/manual/>